

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

肝癌に対する周術期輸血が予後に与える影響の研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 消化器外科 (研究責任者) 中山壽之

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2026年 12月 31日

<研究の目的と意義>

肝癌に対する肝切除術は最も効果的で普遍的な治療方法です。手術前後および手術中に輸血を施行した場合にどのような輸血方法が患者さんの生命予後に影響を与えるかを当院保管のデータベースから統計的検索を行います。本研究により患者さん生命予後を改善できる管理を提供できる可能性が期待できます。

<利用する試料・情報の項目>

紙カルテおよび電子カルテに記録された患者さんの検査データ、画像診断、手術記録、投与された薬品、行われた治療内容、輸血内容、合併症内容、再発内容および生存日数など。

<対象となる患者さん>

西暦 1990年 1月 1日～2025年 12月 31日に当院消化器外科で原発性肝癌の治療を開始された方

<研究の方法>

上記期間内に原発性肝癌に対して手術を施行された患者さんについてカルテに記録された検査データ、画像データ、病理データと輸血内容を判定します。どのような輸血が合併症や生存期間に影響するかを多変量解析により統計学的に測定します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

消化器外科 氏名: 中山壽之

電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 8214